

復興支援の取り組み①

東日本大震災被災生徒進学支援

特定非営利活動法人

若草リボン基金

昨年引き続き、今年も被災生徒の進学を支援するための募金活動に協力しました。

東日本大震災復興支援部門



シンボルマークは若草色が「再生・復活」を双葉が「芽吹き・新芽」の心が「日本、世界中の心がひとつであること」をそれぞれ表しています。



▲今回のティーンズ・フェスタから、ステージ出演者もスタッフとして活動することになりました。「apollon」のメンバーも募金ブースで、復興支援を呼びかけました。中央の男性が、NPO法人若草リボン基金理事長の工藤義信さん。

▲ティーンズ・フェスタの会場、ホール入り口に設置された募金ブースで、復興支援を呼びかけるスタッフ。募金活動とバッジ販売で、**48,757円**の募金が集まりました。

復興支援の取り組み②

石巻市の高校生との交流

震災を体験された方からお話を聞きたいという思いから、中高生企画「東日本大震災から学ぶ」が動き出しました。目黒区の中高生が話を聞くだけでなく、震災を体験された方も東京に出てきて同世代と会話をすることが良い方向に向かうのではないかと「宮城県学童保育緊急支援プロジェクト」と「インターネット緊急支援サポーター」の協力を得て、9月に2度、緑が丘児童館に行われました。中高生企画「東日本大震災から学ぶ」で震災体験を語ってくれた紫根朋佳さんが、ティーンズ・フェスタにも来てくれました。



▲9月21日(土)の緑が丘児童館の交流で友達になった「めぐるっち」前号編集長の鍋田慈音さんと一緒に受付を体験。

この前は、ありがとうございました。

目黒のイベント、ほんとにサイコーです！それに目黒の人たちのノリの良さ(笑)。

会場に入った瞬間、びっくりしましたよ(笑)。バフォーマンスも見ました！ほんとに素晴らしいかったです！それに、私もバンドや音楽が大スキ！

だから心から楽しめました！でも、一番印象に残ったのは、東日本大震災のことを忘れず、支援活動を続けてくれたことが、ほんとに嬉しかったです。私は、他県で初めて自分たちが経験した震災への募金活動を見たので、感動しました。ほんとにみなさんありがとうございます。

今度、みなさんも石巻に来てみて下さい！おもしろい、楽しみです。

みなさん、ほんとに楽しい時間をありがとうございました！

▲コーディネート体験。



紫根朋佳さん
石巻市在住 高校1年生



▲コーディネート体験。

イラスト原作者を直撃インタビュー！！

Q どんなイメージでこのキャラクターを描きましたか？

A 目黒なの、目を黒くしたのと、目黒と言えばサンマということからこのキャラクターが生まれました。

Q 絵がとても上手ですが、普段から絵は描かれますか？

A 絵を描くことが好きです。めぐるっちのイメージキャラクターに選ばれていかがでしたか？

A 「めぐるっち」が選ばれて、とても嬉しかったです。



「めぐるっち」の作者
毛小牧さん(高校1年生)

▲オープニングのステージで、可愛いめぐるっちをプリントしたTシャツを紹介した後、毛さんにお話を伺いました。

販売部門



プレス学芸大学・プレス中目黒
お客様の笑顔を楽しみに心を込めてつくった小物雑貨の販売です。

しいの実社

大人気商品！天然酵母パンで作ったラスクを特別限定価格100円で販売しました。

16時から体育館で「みんなでクイズ大会」が催れ、世界の国々についてのクイズが話題されました。ミニバレーとドッジボール大会の表彰も行われました。

みんなでクイズ大会 & フィナーレ

ゲーム部門の射的をして、景品がもらえるシステムが面白いと思いました。全体活動の〇×ゲームも楽しかったです。最後のクイズまで正解して、クッキーまでもらえました(笑)。(武田)



「Gloria」のメンバーも販売のお手伝い。

ステージ	スポーツ & ゲーム	適正飲酒啓発	バレル展示	販売
小学生	—	2	1	—
中学生	17	11	4	1
高校生	32	9	16	3
大人	6	1	6	2



▲最後にみんな体育館に集合。各部門ごとに活動報告が行われました。写真は〇×ゲームの様子。